

～最新のオブジェクトオーディオ※1“DTS:X™※2”にアップデートで対応※3～  
 “Multi-Channel Stereophonic Philosophy”に基づく  
 “ダイレクト エナジーHD アンプ”と“MCACC Pro※4”による優れた臨場感のサラウンド再生を実現  
 AVアンプのフラッグシップモデルを含むLXシリーズ3機種を発売



【SC-LX89】



【SC-LX79】



【SC-LX59】

商品名	型番	希望小売価格(税別)	発売予定時期
AVアンプ	SC-LX89	395,000 円	10月中旬
	SC-LX79	295,000 円	
	SC-LX59	210,000 円	

※ 3月2日より、PioneerブランドのホームAV関連製品の企画・開発・製造・販売はオンキヨー&パイオニア株式会社が行っています。

オンキヨー&パイオニア株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:中野 宏)は、PioneerブランドのAVアンプ3機種「SC-LX89」「SC-LX79」「SC-LX59」を発売します。

本機は、最新のオブジェクトオーディオ“DTS:X™※2”や“Dolby Atmos®※5”に対応するとともに、隣り合うすべてのスピーカー間でステレオフォニックを実現する“Multi-Channel Stereophonic Philosophy”に基づき、使用するスピーカーの再生条件を揃えて同時に駆動することにより、理想のサラウンド環境を実現します。全チャンネル同時ハイパワー出力を可能にした“ダイレクト エナジーHD アンプ”と、残響特性(時間軸)やスピーカーシステムの位相特性などを補正することで、極めて高い精度で音場補正を行う“MCACC Pro※4”により、理想のオブジェクトオーディオ再生環境を実現し、作品の本来の姿を忠実に再現します。また、4K/60P/4:4:4/24bit 映像信号と、対応の映像機器と接続して高画質な映像を楽しめる最新の“HDR(High Dynamic Range)信号※6”の伝送や著作権保護規格“HDCP 2.2”に対応しています。

【主な特長】

■妥協のない高音質設計

- ◇パーツや回路設計を見直し、妥協のないチューニングを施すことにより、音の深みと力強さが向上し、全チャンネル同時ハイパワー出力(SC-LX89:9ch-810W、SC-LX79:9ch-770W、SC-LX59:9ch-720W)を実現する“ダイレクト エナジーHD(High fidelity class D)アンプ”を搭載。
- ◇オーディオ専用パーツの採用と独自の音質チューニングにより高音質再生を実現
  - ・力強く豊かな低域再生を実現する、新型カスタムコンデンサーを“ダイレクト エナジーHD アンプ”部に採用。
  - ・プリアンプ部には高音質パーツを惜しみなく投入しており、「PML MU コンデンサー」やオペアンプ「NJM4585」を継承するとともに、新開発「シールド DC/DC コイル」(SC-LX89のみ)や新型「低 ESR コンデンサー」(全機種)を採用するなど、S/Nの一層の向上を実現します。
  - ・世界最高レベルのダイナミックレンジと低歪み特性を実現する ESS テクノロジー社製 DAC「SABRE32 Ultra DAC (ES9016S)」2つを搭載することで、“ダイレクト エナジーHD アンプ”の持つ能力を最大限に引き出します。

◇筐体の隅々まで、こだわりの音質対策を徹底。

・外部からの振動を抑える新型“定在波制御インシュレーター”の採用や、SC-LX89 では磁束ノイズを低減する専用電源トランスを採用することにより、サウンド全体の S/N の向上に寄与しています。

**■理想的な再生環境を実現する高精度自動音場補正技術“MCACC Pro<sup>※4</sup>”を搭載**

・“周波数”と“音圧レベル”の補正要素に“時間軸”を加え、集音マイクを使った「3次元音場補正」を行うとともに、「デュアル サブウーファーEQ 補正」機能による低域の再現力の向上により、視聴環境に左右されることなくマルチチャンネル再生の理想的な音場を実現します。

・スピーカーシステム内で発生する低音と高音の時間的なズレや、チャンネル間で異なる位相特性を測定・補正する「フルバンドフェイズコントロール」機能により、明確な音像定位と優れた音の広がりを持つ音場を楽しめます。

・ソースに由来する低音 (LFE 成分) のズレを全自動でリアルタイムに補正する「オートフェイズコントロールプラス」機能により、豊かでキレのある低音と中高域をクリアに再生し、チャンネル間の自然な音のつながりを実現します。

・オブジェクトオーディオ再生環境にイネーブルドスピーカー<sup>※7</sup>を使用する場合、天井からの反射音を考慮した測定・補正が行えます。

**■最新のオブジェクトオーディオに対応～次世代サラウンドフォーマット“DTS:X”にもアップデートに対応～**

・位置情報やタイミングなど音の動きの情報をメタデータとして付加することで、これまでになくリアルな音の移動を再現し理想的な立体音場を実現する最新のオブジェクトオーディオ“Dolby Atmos”の再生に対応しており、臨場感のある豊かなサラウンド空間を実現します。また、今年1月に発表された“DTS:X”にもファームウェアのアップデートで対応(無償)します。

**■11.1chの高精度なデコードを実現し、多彩なスピーカーシステム設定や 11.2ch 音声プリアウトに対応**

・“Dolby Atmos”と“DTS:X”での 7.1.4 デコードに対応しています。

**■4K/60P/4:4:4 映像信号と“HDR 信号”の伝送や最新の著作権保護規格“HDCP 2.2”に対応**

・4K/60P/4:4:4 映像信号の伝送と著作権保護規格“HDCP 2.2”に対応した HDMI 端子を装備。

・4K 映像機器と接続して高画質な映像を楽しめる最新の“HDR (High Dynamic Range) 信号”と“BT.2020 信号<sup>※8</sup>”の伝送に対応。

・BD プレーヤー“BDP-LX シリーズ”の開発で培った超解像 4K 技術を取り入れ、HD 画質のコンテンツをアップスケールリングすることで 4K 映像信号の画質で楽しめる“Super Resolution”を搭載。

**■世界最高水準の録音スタジオ「AIR Studios」が認定した音質チューニングを実現(SC-LX89/79)**

・世界最高水準の録音スタジオとして多くのアーティストやクリエイターから信頼を得ている「AIR Studios」のプロのサウンドエンジニアと緻密な音質チューニングを行うことで、アーティストやクリエイターが求めるクオリティを満たした機材としての認定を受けており、フロントパネルに「AIR Studios」の紋章が印されています。

**■多様なハイレゾ音源の再生に対応**

・FLAC/WAV/AIFF/Apple lossless ファイル形式でのハイレゾ音源 (192kHz/24bit) の再生に加え、マルチチャンネルコンテンツの WAV(USB 入力 192kHz/24bit)/FLAC(96kHz/24bit)や DSD (5.6MHz) ファイルに対応しており、多様なハイレゾ音源を再生できます。

**■Wi-Fi<sup>※9</sup>・Bluetooth<sup>®</sup>無線技術の搭載により、快適で高音質なネットワークオーディオ再生を実現**

・5GHz (11a/n)、2.4GHz (11b/g/n) のデュアルバンドに対応した Wi-Fi 接続により、途切れにくい伝送を実現することで、高音質のハイレゾ音源をワイヤレスで楽しめます。

・「Wireless Direct」に対応しており、無線 LAN 環境がなくても専用コントロールアプリケーション「iControlAV5」で操作できるとともに、スマートフォン・タブレット端末から音楽をワイヤレスで再生できます。

・Bluetooth<sup>®</sup>無線技術による音楽のワイヤレス再生が可能で、スマートに音楽を楽しめます。

**■ネットワークや初期の設定から操作アプリケーションのインストールまで分かりやすくサポートする「Start-up Navi」対応**

・新開発のアプリケーション「Start-up Navi」をインストールした iPhone/iPod touch/iPad、または Android 端末により、ネットワーク設定や初期設定を簡単に行えます。また、「Start-up Navi」のセットアップ画面から、直感的で快適な操作を実現する専用のアプリケーション「iControlAV5」のインストールを行えます。

**■その他の特長**

・Native DSD (DoP) 2.8 MHz 再生対応の「USB-DAC」機能を搭載 (SC-LX89)

・AirPlay に対応

・DLNA1.5 準拠

・インターネットラジオ<sup>※10</sup> 機能を搭載

・MHL 2 に対応

・HDMI<sup>®</sup> によるコントロール機能に対応

- ※1 オブジェクトを用いた多次元サラウンド音響。従来のチャンネルベースのサウンドトラックに、制作者の意図(音の動きや配置)をメタデータとして取り込んだ独立した音響要素(オブジェクト)をミキシングし、重ね合わせることで自在な音の配置と動きを実現します。
- ※2 米 DTS 社が 1 月に発表したオブジェクトオーディオの 1 種。従来のチャンネルベースのサラウンド音声に音の移動情報や位置情報を重ねることで、平面的な音の移動だけではなく垂直方向の音の移動感も加わり、より立体的な臨場感を体験することができる画期的なシネマ音響の技術です。
- ※3 後日ファームウェアのアップデートによる対応となります。
- ※4 MCACC=Multi-Channel Acoustic Calibration System(自動音場補正システム)。“MCACC”は、録音スタジオにおけるモニタリング手法と同一レベルの音場調整を行うことができる当社独自の音場補正技術です。“Advanced MCACC”は、“MCACC”に「3 次元音場補正」機能と「オートフェイズコントロールプラス」機能を加えた精度の高い音場補正を行います。“MCACC Pro”は、“Advanced MCACC”に「サブウーファーEQ 補正」機能と「フルバンド・フェイズコントロール」機能を加え、精密な音場補正を行います。
- ※5 ドルビーラボラトリーズが提案するオブジェクトオーディオの 1 種。“Dolby Atmos<sup>®</sup>”(ドルビーアトモス)は 2012 年に劇場に導入されて以来、ハリウッドのあらゆる主要製作スタジオに採用され、アカデミー賞を受賞した 7 人の監督、16 人のサウンドミキサーをはじめ、映画業界で幅広く採用されている多次元サラウンドフォーマットです。
- ※6 HDR とは、映像の最大輝度を拡張する技術。次世代 Blu-ray 規格では HDR 技術を使用して、最大輝度を 100nit から 10,000nit に拡張。
- ※7 ドルビーラボラトリーズが提案する家庭向け“Dolby Atmos<sup>®</sup>”用スピーカーの 1 つで、天井へ音を放射することでその反射音を天井からの音声として利用します。
- ※8 BT.2020 とは、現在の Blu-ray など で用いられる BT.709 に比べ、2 倍以上の広い色空間をカバーした映像フォーマット規格。
- ※9 Wi-Fi 規格に対応した無線 LAN のネットワーク環境が整っていること、および Wi-Fi での接続が必要です。
- ※10 インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約が別途必要です。

- \* 「Pioneer」及び「Pioneer ロゴ」は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- \* Dolby, Dolby Atmos, ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- \* DTS, the Symbol, DTS in combination with the Symbol, DTS:X, and the DTS:X logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and/or other countries.
- \* Apple, AirPlay, iPad, iPod, iPod touch および Mac は米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- \* iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- \* Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- \* HDMI は、HDMI Licensing LLC の米国その他の国々における商標または登録商標です。
- \* MHL および Mobile High-Definition Link という用語は MHL, LLC の米国および他の国々における商標または登録商標です。
- \* Bluetooth<sup>®</sup>ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
- \* Windows は、Microsoft グループ企業 の商標または登録商標です。
- \* DLNA は Digital Living Network Alliance の商標です。
- \* Android は Google Inc.の商標です。
- \* 他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。
- \* その他の商品名、技術名および会社名等は、各社の商標または登録商標です。

**【主な仕様】**

	SC-LX89	SC-LX79	SC-LX59
<b>■オーディオ特性</b>			
多チャンネル同時駆動出力	810 W (1 kHz、T.H.D. 1.0 %、8 Ω、9 ch 同時駆動時)	770 W (1 kHz、T.H.D. 1.0 %、8 Ω、9 ch 同時駆動時)	720 W (1 kHz、T.H.D. 1.0 %、8 Ω、9 ch 同時駆動時)
定格出力 (JEITA、1 kHz、10 %、6 Ω、1 ch 駆動時)	フロント:190 W / ch、 センター:190 W、 サラウンド:190 W / ch、 サラウンドバック:190 W / ch、 フロントハイト/ワイド:190 W / ch	フロント:180 W / ch、 センター:180 W、 サラウンド:180 W / ch、 サラウンドバック:180 W / ch、 フロントハイト/ワイド:180 W / ch	フロント:170 W / ch、 センター:170 W、 サラウンド:170 W / ch、 サラウンドバック:170 W / ch、 フロントハイト/ワイド:170 W / ch
実用最大出力 (JEITA、6 Ω、1ch 駆動時)	360 W / ch	340 W / ch	310 W / ch
<b>■主な入出力端子</b>			
HDMI 端子	8 入力(フロント 1、MHL 兼用(リア 1)含む)/3 出力(HDZONE 対応)	8 入力(フロント 1、MHL 兼用(リア 1)含む)/3 出力(HDZONE 対応)	8 入力(フロント 1、MHL 兼用(リア 1)含む)/3 出力(HDZONE 対応)
デジタル入力	光 2 系統、同軸 2 系統		
アナログ (オーディオ) 入力	2 系統 (1 系統 MM)	2 系統 (1 系統 MM)	1 系統 (—)
アナログ (AV) 入力	2 系統	2 系統	2 系統

	SC-LX89	SC-LX79	SC-LX59
オーディオ・プリアウト出力端子	11.2 ch (端子数 13.2 ch)	11.2 ch (端子数 13.2 ch)	11.2 ch (端子数 13.2 ch)
マルチチャンネル入力	7.1 ch	-	-
USB 入力端子	1 系統(iPod/iPhone Digital 入力対応)		
LAN 端子	1 系統(10BASE-T/100BASE-TX)		
Wi-Fi	5 GHz(11a/n)、2.4 GHz(11b/g/n) デュアルバンド対応		
Bluetooth®無線技術	○(対応)		
MHL 端子	1 系統(リア HDMI 入力兼用)		
■その他			
外形寸法(W×H×D)	435 mm × 185 mm × 441 mm	435 mm × 185 mm × 441 mm	435 mm × 185 mm × 441 mm
本体質量	18.0 kg	17.6 kg	15.4 kg
消費電力	370 W	370 W	330 W
待機時消費電力	0.1 W(スタンバイ状態) 2.0 W(ネットワークスタンバイ ON 時)	0.1 W(スタンバイ状態) 2.0 W(ネットワークスタンバイ ON 時)	0.1 W(スタンバイ状態) 2.0 W(ネットワークスタンバイ ON 時)

※ 詳しい製品情報は製品のホームページ([http://pioneer.jp/av\\_pc/components/avamp/](http://pioneer.jp/av_pc/components/avamp/))をご覧ください

※この商品に関するお問い合わせ先※

お客様:パイオニアカスタマーサポートセンター

TEL 0120-944-222(無料)